新

局 局

告 集 員

高校生徒会会長に田口君 洛星新聞編集局 京都市北区小松原陶町 TEI@2334

らいたい。 てきた今日、

智弥君が信任された。 生徒会活動も以前にくらべて大分活発になっ 全生徒の協力のもとに、

んで何事 高校生徒会長 田

場合には実行をもつて応じたい。 る。又その意見に対し妥当と思う 際に意見を拝聴しようと考えてい だと思うが)為に、色々な行事の までもなくそうあつて当然のもの であると考える(こんな事は言う なくとも認識されている事が必要

くとやかく、うるさく、べちやく一会において言う。 ものではない。同様学校で事細か れ」と命令されるのは気持のいい 心見の発表の場として

もらつた事 我々が家庭で誰かに「何々をや この紙面をさいてもらい自分の 言あいさつかたがた我々メン ているのは実に気の選である。し 取締る積りである。詳細は各委員 かし今回はその方面の事、厳しく り様は実に目に余るものがある。 クラス代表の生徒会諸役員のサポ 本来統治すべき会長が東秤西走し ところで、我々の思うに今まで

北川

君(HIB)新局長に

に頼つている生徒の考え、意見、

は実は嬉しいことである。

ではないが、残念ながら案外出来ある。 もかんでも)出来るだけやつてお 言を言われそうな事を(勿論何で いたらどんなに気持がいいことだ一的な方面で)と確信する。ところ い。それより前に我々で進んで小 ちや言われるのは 気持がよくな 実に単純な事で高校生の言う事 性格を誤解されているような節が も価値あるもの(その比較的建設 いたらけしがらんと思われるだろ は本校の性格は全てとは言わずと 方針を述べたい。というのは我々 が案外多くの同年費の諸君にその そこでその様な事が信じられて ここで一言外交問題についての 行きたいと思う。 が局長となつて、新らしくやつて 応のくぎりをつけ、今号より、私 この洛星新聞も五十号という一 考えて見ると、先輩諸兄が苦労

判を悪くしたようである。それで

きたい。

して、新聞を活発なものとして行 かつた京都高校新聞連盟等を利用

しばらく前から内容を柔くして来

汜にし、それを引き締めた結果内

いというでと。今まで駄洒落類が

まであまり参加、活動をしていな

容が堅くなり過ぎた所があつて評

りさまである。第二に面白味がな一て得るところもないので、別に今

その上極平穏無事な状態で新聞種一て行きたい。校外、とくに他校と

つき」などと考え合わせて取上げ を、「縦の結びつき」「横の結び

になるようなものもなく、「主張

のテーマにまで事欠くようなあ

という形で行つて来たが、たいし の連絡としては数回「他校訪問」 けでほとんど埋められてしまい、 どに終つてしまい、又はそれらだ

るのが得策だと思う。此の事に関 からそこは要領よく(失礼!)や いつた態度では寿命が縮玄る。だ。を行う時、一人でも多く参加して、なつて来ている。評判の悪くなつ をゆるめず、御無理御もつともと一うから、その抹殺の為に何か行事 し大多数の協力が得られたなら其|も人が現状を批判しなくなつたと|新聞第五十号を見てもらえばわか|うに学校行事の枠が決まつている|われる)、日生徒の興味(良い意|ではないと思う。少し横道にそれ てない。勿論ものにも限度が有つ 年がら年中、もの言わず、筋肉 頂きたい。 ころからその人の進步がとまつて

るように、毎年毎年同じ記事が載 対する批評は芳しいものではなく られたのであるが、生徒の新聞に して五十号もの新聞を発行してこ

と思う。記事のマンネリ傾向の改

これら二点を解決して行きたい

善ということに努めなければなら

変らないが意義深いもの(必然的

ているのであるが。

柔い新聞、歐酒落類の多い新聞な

往々にして面白い新聞、内容の

協力を得る為に我々メンバーは一つと我々洛星の生徒は自分達の伝一は大低決つている。新聞は一年に 統と現状に満たされる事によって一六号ほど出るのであるが、それら しまうのだと思う。その事から思しせられている。一年間の学校行事

生徒会が全員に四六時中とは言わ

一行けばいいのではないかと思う。

次に政治関係の記事について。

対して、身近なところからも、

|らないし、校外との連絡もとつて | 行くつもりである。

以上現在の状態を変えるために

中学生徒会会長は秋道君 先日行なわれた後期生徒会長選挙で高校は田口嘉之君、 この両君に大いに活動しても 中学は秋道

美男は見当らない。我々の学校は一た人のみについての事になるので一す。 それよりも高い何かを造り出す様はやるべき時はきちんとやる。絶 今までになかつたものの上にまだしてくるのは当然だ。そこで後期ノスケートなどの行事を積極的に行 美男だと思つている人間に本当の に努力しようではないか。自分は が左右されてはならない。我々は 体の進歩をとめてしまつている。 しそれを維持する為に多くの行動 かも知れない。しかしそれに満足 洛星は京都で確かに一番いい学校 り自分達で自分達個人あるいは全 又それに対し無批判になる事によ

僕が生徒会長になる事など、つ

|願います。今いつた事は、限られ | を残さないようにやりたいもので べられては、どうしても嫌気がさしす。これから映画観賞・スキー・ 対にだらけないということを強くる。やる時にはやる。そして悔い 選くまでお面白くもない話をなら」めにあるのかと言われるほどで すぐ家に帰えのたい、又は、遊び たいのだろう。それを残して夕方 |と思う。そんな人は授業が終ると|に生徒会活動と言えば、今ある二 く、又、一部の人はだらけていたり関係ない)であるわけです。次 ひらく時など、非常に出席率が悪 きな公約もなく、ファイトがないくてもそう思われます。しかし、 て、中央委員会やその他の会議を一が誇るようになれば、他の人がど いるととを言うと、前期から見一徒会に対しても熱心であると各自 ように思われるが、ここで思つて 立候補して信任され、別に何の大 いぞ考えた事がなかつたのだが、

という事を考え、あらゆるものにる限りその手助けをする様に努力 対し、疑問を抱き熟考する必要が一したい。 まだ完成せずに目下建設中である一あると思う。我々メンバーに出来

やる時にはやろう

十三のクラブを除いて全部同好会 んなにいおうと馬の耳に念仏(余 勉強、宗教活動クラブそれに、生 います。こちらがそう思つていな 事です。世間の人々はがり勉と言 いたいと思います。やればでき にしてしまっと、生徒会は何のた ば、自分で自覚して欲しいと言う や、言われなくてもするのが本当 なのですから、ある 意味でいえ Ξ = Ξ 22 尚、残り一名は未定。

中学生徒会長秋 力してほしい。つまり集合の時、 令に従うとかいうととです。い 静端にすべき時など体育委員の命 ら言うことに、もつと積極的に協 すが、全校の皆さんは、こちらか 一年 の副 0文化委員長 会長長

一年 年 年 年

年 〇風紀委員 〇文化委員 A田保 B富士岡 C石田 A柴田 B高城 A新谷 A多野 B田辺 C塩田·加藤 A城 B奥村 C木村 A野淵 B浜本 B西村

二年 〇体育委員長 〇中央委員 〇風紀委員長 C関·加地 A吉沢・芦田 B天谷・鈴木

A山根· 潤上 C安宅・小川 A小山·内田 B荒川・大原

C中坊 C 挹 Ξ 二年 一年 Ξ 〇体育委員 〇風紀委員 会田 A坂井 B丹羽 A田中 B泉 C矢野 年 A飯田 B天目 年 C岩硬

A藤本 B大門 S 計 徒はクリス

全然別な事になるが僕はいつで「ンネリ傾向が上げられよう。洛皇 ないのであるが、前にも述べたよ」に内容の堅さが決まつて来ると思しての新聞では政治問題を扱うべき」が、規律は厳しすぎる位でないと は、新しい企画を考えなければな「ニュース性に富んだものを載せて」に不完全な状態にあり、それ故 が行事の予定や事後報告、感想な | 又は各クラスの 状態、活動など | け問題なども含ませる。現在の不 | 展するのである。 しかし、我々は 味での)をそそるようになるべくる様だ、我々は前に述べたよう 新聞の方針としては、以前からと一識として得ておくことは必要であ一思われる。先輩、後輩の区別がな どが混合されがちであるが、この一にあるのである。勿論それらを知 新しい企画としては現在の声だけ。これは少し大袈裟であるが広い意。真実なものを裏切られ、何か反動。るものなのであると思う。 り、そして我々はそのような状態 資本主義、その他何々主義とかまなければならない問題であるが、 情勢を論じるには未熟な状態、つ一つ、クラブ活動の意義を見出せな る。従つて、このようなわけで、 いるというだけでは不完全であ一術、疲労の寛服にも大いに意義は まり社会は人と人とのつき合いか 形成を本分とするのであり、社会 | を考えねばならない。ことに一 るが、それに判断を下すのは別問 安定な社会情勢は高校生と言えど一真実なものをぶち壊わされて、や らなつているだけに、民主々義、 題である。我々学生は学業、人格 もある程度理解しておく必要はあ 味を持たせて、例へば授業料値上一的になろうとそれがデモにまで発 たは法律、倫理などを一応知つて あるが、一つ欠けているのに規律 けくそになるのでなく、如何に現 いけないと思う。クラブ活動が楽 用して行くべきかは各個人が考え の禍中で守つて行くかと言うこと 在持つている健全な精神を社会悪 の緊張はテクニックの難しざから のないことであろうし、第一精神 い状態である所が大部分である がある。これは不活発の一原因と 現状ではあまり芳しくない。技 いだろうか。これをどのように活 | 得るようになつており、またその | 気を作ると共に演技に対する涸滑 自由な立場で真実の報道がなされ り、又学校側にある訳でもなく、はただワイワイとさわいでいるの るのではあるが、生徒会のもの、 の新聞だから生徒会に従つて行く」頃の洛星生徒の態度を第三者の立 ように努力している。生徒のため | 油の役目をするのである。▼この ではなく、予算も別になっておいである。この行事において我々 そのファイトにまけないようにやらない。高機な態度をとりのぞい でにとぎつけられたのであるが、 の叫ばれているゆえんである。 いし、またそれが生徒会の新聞(一が漂つているのではないだろう べきであると言うことにはならな場から見てみると少々高機な空気 述べると、 つて行きたい。 来一年間項 局されて間なしに局長に就任、以 つまり官報の 最後に、前局長は去年新聞局入 吸つて、五十号発行ま のようなもの)の発行 あると言う事を我々は忘れてはな わされているのにちがいない。我 ではないのである。我々が言つて 高慢な態度とは全然違つたもので 々が自分の学校を尊敬しプライド か。世間がとやかくほめるものだ をもつ事は大切だ。しかしこれと から洛星生徒はその甘い言葉に酔 いるさわぐという事は独特の雰囲 た時とそ洛星に大きな進步見る時

生 徒 会 役 員 決 定

Ξ

年

B梅田

C万宝

金野

品川

C加藤

のである。これを感じる為にもク

とでも言おうか何とも言えないも る時の気持、それはすがすがしい 夜に、おごそかなミサが行なわれ

リスマス行事に多く参加しよう。

北山修(三人) 稲本俊(三) 山本俊明(三B) 三年 二年 一年 A爽田 A山木 B沼田 A贈田 B矢野 B福島 C富田

二条年

祭が閉で中止になった

▼今年の記念祭は体育

つた。しかし体育祭が なかつただけに文化祭

のが何よりも残念であ

B広瀬 C桑田

B沢井 C三宅

B野橋 C太田

が昨年よりもずつと活気に満ちあ

長先生もいつかおつしやつた様に ふれたものであつたと言える。校 一年

〇会計委員

0文化委員 〇会計委員長 〇文化委員長 〇体育委員長 〇風紀委員長 会 記 長長 長 青山俊樹 (三C) 田中喜男 (二B) 上田 徹 麻田佳明 (三B) 田口郷之(三B) 安藤尚雄 (二) B の為、未定。 尚、評議委員は解散後、未招集 年 クリスマス

近

づ

A緒木 B三原 C小笠原 二十四日 リスマス行事が催される。 はミサを中

A西田 B小原 C山本

年

・十一時半からキヤンドルサー唱・演劇等 ・十一時まで講堂において、合

二十五日 ・一時半点 ・ミサ終了後、食事 ・〇時から一時までミサ ・プレゼント交換その他 マス行事を経験してい から講堂にて、ピンゴ

生徒会に従属しているという意味」いと言う人があるがそれはまちが る事と思うが、しずまりかえつた一能第二部が催された。さすがほと つた。 今年も例年のごとく学校で | 習又クラブその他のものにして見 近ずいた気配を、おぼえる様にな一ある。記念祭における合唱演劇練 これで大体行事は終る。多くの生一のである。又一昨年中止されたシ 最後に洛星新聞の立場について一実にふさわしかつたといえよう。 だんだん寒くなりクリスマスが一伸ばして行くのが全生徒の役目で これは生徒会もとにあ | この行事をそばから見ていると無 心とし、いろいろな夕一てもすべて生徒が心を一つにしお 意味なバカさわぎにしか思われな そぶだけではいけない。今のべた に古くからダニのようにつきまと ークレツトに変り今年は新しく芸 様な事を休験しなければならない る。配念祭において我々はただあ に十分なものにちがいない。それ つているエゴイズムを払いのける のである。この精神こそ洛星生徒 て来つつある。これらをより一層 て文化祭の最後を飾るものとして んどの生徒が望んでいただけあつ がては洛星より遠さけるのであ いに近づけ殺伐たる雰囲気をもや たけではない。 先生と生徒をお互 互いに協力し合つて努力している 確かにわが洛星記念祭は良くなつ はどうした事であろうか。昨年の

りか、全く無関心に近い状態なの く、もし招くとすれば、咋年のうに 歩く毎に違つた趣のあるデコレー

なことをせず、その人遂に十分ないことである。

特定の学年だけがやるというよう ションに出会うのも考えれば面白

待を抱かせる、ある雰囲気がまつ

わりついています。私達は誰でも「こまで考える必要はないとして

りそうな、あるいは起りそうな期。ずつしりとかかつてくるのが当然。が「未来の洛星」という問題でも

世界観なり歴史観なりの重みが

ではないかと思われるのです。そ一煎じつめれば同じことではないで

いたずらにまぼろしを

してほとんど何も行なわないばか 達の招待であるが、これは問題多 どうかとも思う。一、ニメートル 「特に高校の」 がクリスマスに関 点を二、三あげると、まず施設の人 て、 思い思いの装飾をしてみては か。なるほど、クリスマスの宗教 徒会一致協力のもとに学園あげて 感じるのが実際ではない だろう 遠いものであつた。今年は 両生 を願りみて、あまりにも寂しいともごく少数で「学園行事」には程 本校における「クリスマス」行事 讃辞を述べただけで、ミサ参加者 つである。しかるに、昨年までの は、生徒会長が、中学生徒会への

し、参加不可能な生徒が少くないスをやつて頂きたいものである。

も確かであろう。しかし生徒会

それに関して考えてもらいたい る廊下を各クラス ごとに分担し

ら、いつそ、補導部から受付に到一使い易い言葉です。

るい未来」とかいう具合に。それ

」とか「未来の食生活」とか「明

「未来」という言葉は何となく
| 先程書いたような漠然とした雰囲

はいかないでしよう。そうなると 誰にでも答えられるというわけに

「未来の世界」気とか、状態とかいうことでは済

まされない問題になって来ます。

大袈裟に言えば、

言葉にはそれを使う人の人生観な

りましよう。

抽象的な言い方ばかりしました

つも私達に将来何かよいことがあ にまた、「未来」という言葉には 希薄な感じがしないこともないか

レーションが各数室に做らばつて一という言葉などもそうです。

な感じがしないでもないし、デコ ならず、一回限のの事で少少無駄

未来の洛星」という題の「未来」 えば、今、私が与えられている「

行事はすべて深夜に行なわれるの行事と言い得る立派なクリスマ

本校とそこに学ぶ生徒に取つてい り、和やかなつちにも厳かなミツ 精神に法つた教育を行なつている まれない人達を招待した学年もあ

ド・ナイト・マスや種々の催しを

挙行したにもかかわらず、

高校側

昨年の中学の例では、広い教室を

飾るには相当の出費を見込まねば

案外いろいろあるものです。たと

何か、ということになると、そう

「未来」という言葉の真の意味は

一クイズになりませんネ)

中に!!

らない。次に校内装飾であるが、

分つていない言葉、というものが するにちがいない。ところがこの で取り上げてみると、よく意味の より進んだ、より高い状態を想定 使つている言葉や、ちよつと改め 少なくとも現在よりはよりよい、

違に反感の意を抱かせないとも限

われわれが日常なんの気なしに

「未来」という言葉を聞く度に、

名 当

手際が生じ、下手をすればその人

…」と、言われるというような不

頃恵まれない施設の人を本校に…

生徒と施設の人を前に「今日は日 さもなくば昨年某先生が壊上で、

足元をしっかり踏みしめて

記

想

国 語担 校一致の下に招待すべきである。 れの態勢を整のえるためからも全 事をしてあげる上からも、受け

また例年のごとく「クリスマスラス単位に装飾の補助金を出し、

が近ずいてきた。キリスト教的

全校含クリスマスムード溢れ、恵

年を通じての最も意義ある日の一

つまでもなく「クリスマス」は一

主張

クリスマスを控えて

聞

新

⑤③①食 章

堂 ⑤ 即 医堂 ⑤ 即 医

⑩録音室

⑩新聞局

四生徒会室四同窓会室

やつと決定!!

た表彰式には出席しなかつたが、

の至りであつたと言う。しかし、

ですから。

サン・テグジュペリというフラ

来ない者は授業を受ける資格がな

直接があっ

る。そして、予習をして

まれる事や、一点でも多く取ろう

に対して、大学受験の渦に巻き込

、記念祭の準備をする

発展を願う気持に変りはないはずらない様に ん。私達の誰も、学園を愛しその 精神で」という意味ではありませ

|々には授業の予習をしなければな |ある。この手紙が洛星の生徒諸君

行われるものである。だから、我

は国語の授業と一貫して

な。」と……

以上はある高校生からの手紙で

来年度修学旅行

国物入れ ①~®

⑥シャワー室

室 晦 医工室

の文化室 四印刷室 室

❷和 20是

∞ 会議室 所 図タイプ室 20視聴覚室 18準備室

旬に使用できるとのこと。 予定であるが一部は一月中 なお本年度中には完成する

17

外部はもうほとんどでき上つて上途りもされ、 きりと内部の様子のわかる状態である。またロ に使会室は教室に変つて中一Cがはいりその西が 医にあてられ、今の選択室は図書資料室になる。 も今や突貫工事を行なつて、 は内部設備だけ。その内部も各部屋のしきりはできて なお現図工室は会議室及び教員図書室にしきられ、 だおり、はつきりと内部の様子のわかる状態である その隣の生徒会室は教室に変つて中一Cがはいり -A 教室は選択教室にあてられ、



図書館表彰さる

決定がなされた。

司やつと学校側から北海道行きと

26

感に重点を置かれたのである。十 や美化についてでなく、生徒の利 円方法、運営方法つまり活用の状 の対象となつたのは、貯蔵図書数 仪図書館優秀賞を獲得した。審査 四表彰事業に於いて、中学の部学 月三日の京都新聞社で行なわれ一平素、私選がお目に掛つている現 恩等学校図書館は、京都新聞・滋 日日新聞共催、第七回優秀図書

28

27

29

30

そこで、六年に一度だけなのに強 定。現高一生から中学修学旅行は 結果は二条半々であつた。そこで 今年の様子を見てからと秋まで沈 北海道、九州等が出た。が、物価値 用がかさむと許可しかねるという しようもなく、学校はこれ以上費 談状態であつたが、値上りはどう めかね父兄アンケートをとつた。 はやめ、もつと意義のある他地方 行軍かつ設備不十分な北海道行き 廃止され高校で一括されていた。 仏態になり、再度アンケートとな 上のが強く影響し学校一存では決 た。結果は北海道四十五、九州 一十パーセントとなり、十一月下 来年度修学旅行は 北海 道と決 してはと、五月頃、学校案とししも、少なくとも「未来という言葉」追うことなく、 くことは不可能であります。そこ に未来について語ることのむずか しさがあるわけでしよう。

かで確実につながつていることも

く、常に過去および現在と、どこ

去る十月二十四日、我が洛星中 ます。 また、否めない事実だろうと思い

で、そとに掲載される諸先生(私 せられたことがあります。ところ ようです。かく言う私も狙上に載 いとの問まで、"やや!はてな?" も含めて)の幼き日の写真を拝見 なる欄があつて、仲々好評だつた していつも感じることは、およそ 他の方々をひきあいに出して恐

もつと押しつめると、現在につ てくるのです。(そうでなければ 来は意義あるものとなる、のであ く根ざした時のみであり、それを一それは時間がないからだからしよ 在に重みが生じるのは、過去に深 それぞれの方々の個性があらわれ 状(失礼)とは似ても似つかぬ場 ての深い認識があつてはじめて未 ぬ姿のうちに、やはり紛れもなく いうことである。逆に言えば、現 めているとその一見似ても似つか が不思議なことに、なおよくみつ 合が多いということです。ところ 「過去」に何かを負つている。と つまり、私達の「現在」は常に一て不可欠なものである。ある部分 言つた様なものではない。僕がこ って不可欠なものであると同様 う。」と答えてくれた。だが、試が場たら、君は「多分しないだろ のがれであつて、その理由にはな うがない。」と言うかも知れな はいつて、ある部分はいらないと うのと同じである。水が人間にと 栄養にならないから飲まないと言 験に出ないからと言つて勉強しな 強しかしていないと思われる事で に、全ての学問は人間形成にとつ い法はない。これは水がからだの い。しかし、これはただ単に言い 部分を取えて勉強するか。」と僕

が、授業の進度が早い事や、度重特にそれだけ取りたててする事 らないと思うのである。 なかんずく、君達をあわれに思 自分の一番好きな勉強を

です。私達は未来を想像すること 間の頭に実際存在するものとして国を将来、より光輝あるものにす ておく必要があると思います。 については、今少しはつきりさせ、願うことなく、結果だけの成功を は出来ますが、確実に頭の中に描 意識されるのは、過去と現在だけ る。三十二年に高校の部で優秀賞 っているのですが、そのうちで人一認識することこそ、私達のこの学 在、未来の三つの要素から成り立 を受けたが、その時の賞品の図書 て見ると、二万円相当の図書であ一つたから、まつたく関係者だけで きた。その賞品をちよつとのぞい 賞状と賞品だけはちやんと送つて一幸いながら今回は、我が図書館貯 大変多くて、関係者一同失望落担一であった。 には本校の貯蔵図書と同じものが 時間というものは、過去、現 のうち小学十一、中学七、高校四 なく我等もうれしい限りである。 をその長所も欠点も、その本質や なお表彰されたのは八十六参加校 蔵図書と同一の物は一冊だけであ る道ではないかと思います。 原因までも、誤りのない広い目で 狙うことなく、むしろ現在の状態 今「誤りのない目で」と書きま 形骸だけの完成を

であると思います。生徒も先生も

誇りとするわけにもいかないが。

る」、と言いましたが、実に至言

男は全然

ない。そんな事を特別

ります。

校生とともにお祈りする次第であ から守る警鐘とならん事をある高 として醜い程日夜あくせくする事

その点、

僕の学園にはその様な

人が同じ方向に目を注ぐことであ

互にみつめ合うことではなく、二 ンスの小説家は「愛することはお

ないと思う

い様に、肥

念祭に参加する資格は

脚のない幽霊のような存在ではな れた風船玉のような、あるいは、 しかし一方、未来とはひもの切 つたら、お前らきつと怒るやろ。

偉いと思うが、その反面大へんか まだ僕は君達洛星の諸君を非常に が少なからず解かつた。しかし、 もがり勉ばかりではないと言う事 君の話を聞いて、洛星の生徒諸君 らの手紙である。 わいそうだとも思わざるを得な

が言われたら、洛星の諸君はその ある。これは僕が最も嫌悪を感じ 部分は試験に出さない。』と先生 まず第一に君達は受験の為の勉 つである。「もし『この

うか。特に未来の洛星を背負うべ を思い意味で超越していないだろ 洛星の影は薄れ、向上のない洛星 叉、延びたいだけ延びられるよう 中にも有る様に、行い伴わない知間」「おと さると同じなり。」と古く故事の し「知るも、行なわざれば、知ら、入学率は年々向上するだろう。しの上、洛星精神の源流をなすカト イドを持つている。 識は知識ではない。 までもなく御存知であろう。 確かに現在の洛星の生徒はブラ る」のではなかろうか。現在の洛 されるだろう。少し延びなやみぎ 「プライド」。意味は説明する しかし、それ という物が 星の姿が、 かしそれと うものが

| う言う様な事を言えば、諸君は「一現在の洛星には未だ上級生に本当 いるのである。が故に、この危機 て、洛星が常に進步向上の道にあ の洛星精神がしみ込んでいる為を数えるのは生徒自ずからの手でる為に、我々が我々の母校として はなかろうか。勿論、第二の力と一誇れる為に、現在我々が解決しな 学校は生徒によって成り立つて 問題があるが)。そのように

るかもしれぬ (これにはいささか

あんまり勉強せな あ

ても頑張れよ。」と言つてくれる

所を勉強し

し直して期末テストに於

でも、君はあの時「出来なかつた

き友になつてくれるだろう。

つてくれたまえ。彼はすぐ君の良 てもらつたぜ。」と声をかけてや

を注いで」堂々と歩もうではあり

らでも早すぎはしないから期末テ ら、あまのくよくよするな。今か頑張つて取の戻せばよいのだか

のあの手紙、洛星新聞で拝見させ

な男に出会つたら、「イヨー、君

もし君がどこかであのハンサム

ストの準備をはじめろよ。」と言

つてくれた。僕はうれしかつた。

かり踏みしめて」「同じ理想に目

では諸君、互いに「足元をしつ

たるものがあると思うのです。 歩んでこそ「洛星の未来」は洋々 一学校も皆が同じ理想に目を注いで

の中間テス

トの点がいつもよりも

校は自由学園である。

を福井武彦という。通つている学

(ちなみに、その高校生の名前

第三に標

質をしてだつたか、 僕

思かつた時、君は「期末テストで

「お前らあほちやうけ。」と言しなるテスト等によって、 高 筋

ではない。」と力説してくれる。 しは高二 高三 の先 輩を見習えば 君はよく 「洛星の生徒はがり勉」をはなしたら、逃げてしまう。 少 らの手紙である。
に、高一の奴らときたら、一寸らの手紙である。 けど、怒る前に次の手紙を読んで そんな奴等は一体、文化祭を何だ 良いのに。」とこぼしていたが、 と心得ているのだろうか。勿論、 である。 第二に君は「文化祭の準備を手 困難な事 特

末テスト

開えなければならな

い。あつかましくも、次のテスト

充実した、等と早合点する事はで

舎が増築されたから、洛里はまた

つた所をよく勉強して、その上期

路君もその

様な場合に遭遇してそ

君の本当の気持であつて、洛里の

べきだつたと思う。もし、あれが

るのは余りにも我がままな事であ

めもふらずに自分の好きな事をす

要するに、学校の行事等にわき

つて、学校行事には積極的に参加

しなければならない。生徒にその

の様に考えるなら、僕は君達に言

中間テストで出来なか

理想像が完成したと言えよう。終 様な精神があつてこそ、真の洛星

でよい点をとろうとするな。出来きない。それは上辺だけの姿であ

をまず十分勉強しなけ

い。出来なかつた所を

れた事はやるというけじめある個

って、やはり大事な事は、決めら

合唱コンクールは音

体育祭は文字通り体育の授業の延

やの直す

ればならな なかつた所

長として、

= 下 真 法

がこのまま後退し、「風と共に去 だろう。知識の顔の図書館も拡大 しれないのである。勿論、大学のいがブールも造られるだろう。そ ことの学生」、という物 研究の設備も完全になりつつある し反対に、「まことの人 リック、その盟堂も造られ、宗教 一声で絶してしまうかもろうし、いつの事になるか分らな 事、これも近い将来解消されるだ 頭に重きをなす、運動場の排水工 又、学校側でも生徒会側でも常に

して先生方の助力は必要であるの ければならない最も大きな荷物と しれない。否、今の状態で進むな 系の学校と、生徒の交換も出来る ら「洛星の危機」の訪ずれは当然 だろうし、生徒自体も社交的にな 洛星史上に輝き、後のみのクラブ活動も立派な物に、 未来の洛星の姿かもになるだろう。他のヴィアトール

歩しない。後退するのみである。 き立場にあるはずの低学年諸君の 未来は必ずしも有望だと云い切れ は当然。そして我らがとの洛星の して負わされている「洛星の危機 ているのだと思われる。しかし、 に、名門校として立派に成り立つ うぬぼれている間は、決して進であろう。 50 危機を扱うなら、きつと、自他共」を扱わねばならないだろう、 新するに値する事だろ

否、

数わねばならぬのである。

そ

ないのではなかろうか?。本紙に 樹」と云う物がそつと忍び寄つて もしばしば載せられた「洛星の危

に名門校と 今造られている洛里会館も…、

して未来の立派な洛里を夢見、

勉強する事それ自体たいへん 事は後退する事ではな一度である。その精神が我々の心の のから、決して嬢る一標としようではないか。 中にできる事を、今後の我々の目